

令和2年3月10日

京丹波町長 太田 昇 様

京丹波町総合計画審議会

会長 中西和之

京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略について(答申)

令和元年10月31日付け元京丹企第443号で諮問を受けた「京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」について、別添のとおり答申します。

この創生戦略(案)は、総合計画審議会の全体会議を3回、正副会長会議を2回開催し、協議を重ねた結果を取りまとめたもので、平成27年10月に策定した第1期計画の進捗状況と事業効果の検証や、住民アンケートの結果等も十分に踏まえながら、第1期計画で進めてきた取組の芽を、第2期では開花させられるよう、各委員の町に対する熱い思いと意見を集大成したものであります。

今後は全国的に人口減少が進むと予測されるなか、京丹波町においては、人口減少対策はしっかりと行いながらも、そういった社会変化への対応として、地域力を高めるとともに、関係人口という新たな「力」も地域に取り込むことなどにより、いつまでも活気のある京丹波町が実現できることを期待しております。

この創生戦略の基本理念にある、目指すべき町の姿は「自給自足的循環社会」であり、その実現に向けては、町民、団体、企業、行政がお互いを知り、共通の認識を持ち、協力し合うことが重要であることから、中心となって輪をつなぐべき町行政の果たす役割は極めて大きいものがございます。

十分な配慮のもと、皆が健やかで、誇りと希望を持ち、そして支えあえる「健康の里づくり」に邁進されることを願って答申とします。